

ヤマトグループ賛助会員向けニュース 発行部数12万部

# ヤマト福祉財団

Yamato Welfare  
Foundation  
2004 Spring

# NEWS

No.2



た ま ぜん しょう えん  
多磨全生園に  
ハンセン病回復者の  
平沢保治さんを訪ねて。

# ハンセン病問題の 語り部、 平沢さんから ヤマトグループ社員の 皆さんへのメッセージ。



平沢保治さん ひらさわ・やすじ

1927年、茨城県生まれ。13才の時に発病し、14才で東京都東村山市の国立療養所・多摩全生園に入園。高松宮記念ハンセン病資料館運営委員、多摩全生園入園者自治会会長。昭和30年代から障がい者運動に参加し、地域の共同作業所作りに関わる。1997年にヤマト福祉財団のパワーアップセミナーで講演。著書に「人生に絶望はないーハンセン病100年の闘い」など。

**司会** 今日は平沢さん自ら、高松宮記念ハンセン病資料館をはじめ、全生園をいろいろご案内いただきまして、本当にありがとうございます。平沢さんと小倉理事長との出会いから、お話しただけだと思いません。

**平沢さん** 昭和30年代には患者運動、昭和40年代から、障がい者運動に関わっています。「きょうされん」で常務理事をされている藤井さんたちと、共同作業所づくりに取り組んでいたんです。病気を抱っていたり、障がいのある人たちなら、私たちのことを理解してもらえませんか、ということも思っていました。

藤井さんから、障がい者がより人間的な生活が送れる能力に応じて仕事ができるようにするためのセミナーがあるから、遠いところ悪いけれど、講演に来てくれないかという話があったんです。

## 平沢さんとの 出会いは、7年前の パワーアップセミナー

それが、平成9年7月に松山市で行われたヤマト福祉財団のパワーアップセミナーでした。小倉理事長は初めてお会いした時に「平沢さん、私は障がい者に10万円の月給を出す作業所を作るんだ。1万円じゃ生活できないでしょ、人権という観点から言ってもおかしいんじゃないの」というおっしゃるんです。セミナーの後の夜の交流会で、若い人たちとお酒を飲んで、語り合う。その時、小倉理事長がおっしゃった、なにげない一言一言は、私にとって貴重な財産です。今の学校教育とか、資料館づくりに役だっています。去年もね、小倉理事長が「財界」の特別賞を受賞なさった時のパーティーに、経済界とは何の縁もない私を招待してくださいまして、私の手をしっかり握りしめて、抱きしめてくださいました。小倉理事長とお会いできたことは、私の自慢の一つです。

**小倉理事長** 私は平沢さんとお会いできて、本当に良かったと思っています。ハンセン病問題は、遠い過去のことでもなければ、よその国で起きたことでもない。その証人として平沢さんがいらっ

小倉昌男 ヤマト福祉財団理事長



しやる。電車で逃げようとする警察官が駅まで追いかけて捕まえにきて、連れ戻す。平沢さんの口から、そういう話を聞いて本当に恐ろしいことだと思えました。今日も資料館でいろいろ見せてもらったように、全生園だけでしか通用しないお金があったり、そんなことが許されるのかというところが現実にあつたんです。悪いことをした訳でもなんでもない、不幸にして病気になる人たちに對してですよ。日本人というか我々人間の心の中には、差別という恐ろしい魔物が棲んでいるんだなと思いますよ。いま、私は障がい者のことを、ヤマト福祉財団でやっていますけれど、どうしても差別という問題は避けて通れない。差別を無くすということが、いかに難しいか、しみじみと思います。ヤマト福祉財団が続く限り差別を無くす運動をしていきたいと思っています。

## らい予防法の歴史は、患者を人間として認めなかった歴史。

平沢さん ハンセン病にかかると、1ヶ所に集め



金指 歩さん  
東京支社 人事担当 平成2年入社

て、生涯そこで隔離して死んでもらう。2001年に国が控訴を断念したハンセン病遺棄国家賠償訴訟は、二言で言うところ、そういうことなんです。他の病気だったら、治してあげて社会復帰させようと思いますよ。病人として認められないということ、人間としても認められないということ、8年前のらい予防法の廃止によつて、回復した人が、ようやく人間として認められた訳です。この世に生を受けて誰よりもつらい生き方をしてきました。今日見ていただいた山吹舎は、私が独身時代に住んでいた建物を復元したものです。戦前の優生保護法では、我々も子供を持つことができませんでした。戦後新しくできた法律で、私たちは子供を作ってはいけないということになったんです。結婚する時、犬か猫のように断種手術を受けさせられて、子供を作れない体になってしまいました。でも恨みを恨みで返そうとは思いません。すごく惨めだし、明日への展望がない。そういう過ちを犯した人たちが、自ら悪かったと心からそう思えるようにしなければならぬ。何よりもこんなことが二度と起きてはならない。入園者の平均年齢は76才です。私たちがみんな死んで全生園がなくなつても、私たちの生きてきた歴史を残していかなければならないと思っています。資料館も手作りでは始めて、運営もボランティアでやっています。先日、来館者も12万人に達しました。古い建物を残したり、木を植えたりしています。広大な敷地を自然を、人権の森として保存する活動を行っています。人間の心と、生きていくことを学ぶところにしたいですね。そんなに遠くない過去に、日本でこういうことがあつたんだということを、子供たちに後生に伝えていきたいと思っています。

司会 嶋田さん、金指さん。お二人のお話をうかがつて、感想はどうですか。

嶋田さん ハンセン病のことは何も知らなくて、去年黒川温泉の件で関心を持った程度でした。今日こういう機会をつくっていただきまして、資料館を拝見して、平沢さんのお話をお聞きして、余りに無知で、無関心だったと本当に恥ずかしく思います。病気そのものもさることながら、無知による差別、偏見がいかに平沢さんたちを精神的に傷つけ、つらい思いをさせたのか、痛感させられました。

金指さん 私はテレビのハンセン病のドキュメンタリー番組を見て、心が痛くなりました。こちらにおうかがいするという話があつた時も、緊張してしまつて、気が重くなつてしまいました。先日、事前の打ち合わせとすることで、小倉理事長にお会いする機会を作つていただき、平沢さんのことを学生時代の旧友のことを話されるように、親しみやすい人だから何でも聞いてみなさいと、楽しそうにおっしゃられるのを聞いて、少しだけ楽な気持ちで来ることができました。資料館でも平沢さんのお話を聞いて、涙が出そうになりました。この緑に囲まれた自然の中で、過酷な体験をユーモアを交えながら話される平沢さんのお人柄に触れることができて、今日来て良かったなと思いました。

## 日本全国、海外に行つても、帰れない、ふるさとへの思い。

平沢さん 病気になったのは仕方がない。全くの間違ひだったので血統病と誤解されて、家族まで隠さなければならぬ。私は長男ですが、



嶋田 徳子さん ヤマトシステム開発株式会社  
総務部総務課 秘書 昭和57年入社

妹や弟が結婚する時に、兄貴は東京の学校に行つてそのまま行方不明になつたと言つたことになつている。ハンセン病と宣告されるということは、即社会から抹消されるということなんです。初めて理事長とお会いした時も、北関東とまでは言えませんが茨城とは言えなかつたんです。

小倉理事長 ご迷惑をおかけするといけないので聞こうとも思いませんでした。

平沢さん 茨城県の知事も含めて、みなさんすごく協力してくださつていて。それでも茨城県のことは、今でも言えない。家族に迷惑がかかりますから。体力の続く限り、私の体験したことを話そうと思っています。それから、日本全国はもちろん、海外にも12ヶ国、去年は中国にも行きました。それでも生まれ故郷、生まれた家には行けない。なぜかと言えば、妹や弟がいる、その子供たちがいて、結婚している。親戚がいる。そういう人たちに、私の存在が籍口令がひかれていきます。エイズとか、知的、精神など障がい者には家族会がありますよね。ところがハンセン病には、家族会というものが全然できない。私の母も実



家から勘当された。知識や財産は努力で何とか  
なりますが、血統は一生つきまとう。そこから差  
別が生まれます。もし、結婚する時に相手の親  
戚にハンセン病回復者がいると分かれれば、「あ、そ  
うかい」と簡単に許してもらえないでしょう。今  
でもそういう状況があるんです。我々の最終目  
標は、私もそうですけれど、生まれた家に帰って  
肉親とお茶の一杯でも飲むことなんです。もし私  
が帰ると言ったら茨城県知事を先頭にマスコミ  
も迎えてくれるかもしれない。でもその陰で肉  
親が動揺したり、甥や姪の結婚が破談になった  
りしたら、本当の人権解放ではない。両親だって  
ね、私のことも可愛いかったでしょうが、他の子  
だつて可愛いかったでしょう。両親がまだ生きて  
いたら、我慢してくれと言うんじゃないかと思っ  
たんです。だから私は、ふるさとに行かないんです。

茨城県の子供たちに、私の創作童話を2千部寄  
贈したんです。それを読んだ子供たちが作文を書  
いてきてね。「私たちの手で、生まれた家に帰そ  
う」「私たちは、どんなにつらくても人をいじめ  
たりしない人間になります」段ボール箱いっぱい  
あります。今の私の生きがいなんです。今は、児  
童人権教育に力を入れています。

**私の使命は、子供たちに  
会って体験してきた  
ことを話すこと。**

**小倉理事長** これからも平沢さんお元気でい  
てください。生き証人なんだから。どんなに立派  
な資料館ができて語るのがいなければ。平沢  
さんの言葉は強い、力がある。特に子供たちにお  
話していただくことは、本当に大事なことで

思います。

**平沢さん** 小学生は4年生からですね。この前  
も式根島の生徒数がたった9人しかない学校  
に行ってきました。島根県の隠岐島にも行ってき  
ました。生徒がみんな「平沢さん頑張ってきたね」  
と励ましてくれるんです。私は子供と女の子が一  
番好きです。(笑)女の子というのはね、看護学  
校の教育にも力を入れていますから。100校  
くらい来館しています。看護師になる人は99%、  
女性です。私たちが死ぬ時、看護師の手で死に  
水を取ってもらいたいという思いもありましてね。

つて裁判で勝つて、ハンセン病回復者は、ひどい目  
にあつてきたけれど、これで解決したんじゃない  
かと思つていたんですね。総論では差別という問  
題は分かつていても、各論になるとまたまだとい  
う実態を浮き彫りにしたんです。差別や偏見の  
問題にもっともつと頑張れよと警鐘を与えてく  
れた事件ではなかつたかなと考えています。

**金指さん** 理事長から、平沢さんとお会いした  
ら、ぜひ手のことをお聞き下さい。そして握手  
してもらいなさい。あなたの一生の財産になるは  
ずですよと言われました。

**嶋田さん** 平沢さんの話を聞いて、子供の反応  
はいかがですか。

**平沢さん** 私が14才でここに来た時は、皆さん  
と同じでどこも何ともなかつたんです。1年で  
帰れるよと言われて、早い話がだまされて来た  
訳です。早く治りたい一心で、お正月になると言  
うのに、あわてて全生園に来たんです。ところが

こつこつと書くんですよ。びつくりしまし  
た。4年生、5・6年生、中学生、高校生そうい  
う風に分けて話しています。明日もね、信州の  
小学生が来るので20分くらい話をするんです。  
小さい子供に話をするのは難しいですね。飽き  
ちやうから。たとえば、全生園の話をする時も、  
広いでしょ、プロ野球のジャイアンツ好きかな、東  
京ドームに行つたことがあるかなと聞く。東京  
ドームが8つできるんだよ。「うーん広いだね」  
という返事が返ってくる。そういう話から入る  
ようにしています。この前、学校ではないですが  
千代田区にあるホテルから講演してくれという  
依頼があつて行ってきました。熊本のホテル宿泊  
拒否事件というのは、確かに不幸な事件ではあ  
つたけれど、私自身はそんなに驚いていません。  
国民の大多数の皆さんは、らい予防法が無くな



平沢さんが青年時代を過ごされた山吹舎。

高松宮記念ハンセン病資料館  
〒189-0002 東京都東村山市青葉町  
4-1-13 TEL.042(396)2909  
URL <http://www.hansen-dis.or.jp>  
開館時間:午後1時から午後4時まで  
(休館日は毎週月、金および祝祭日)  
入館料無料  
交通:西武池袋線清瀬駅南口から久  
米川行き、所沢駅行き乗車「ハンセン  
病資料館」下車



来てみたら、先ほど資料館でも説明しましたよ  
うに、こは地獄のような所だった。子供でも働  
かなければ生きていけない。戦時下で食べ物も  
ない。ハンセン病のらい菌は結核菌と似ています  
から、安静にすること栄養を取ることが必要な  
んです。事実、今の日本では新たな患者がほとん  
ど発生していないのに、開発途上国ではいまだに  
年間70万人も発生しています。君たちも将来、  
体が弱くなったら誰かに面倒を見てもらうんだ  
から、元気なうちは世話をしろと言われて重症  
の人の看護をさせられました。自給自足ですか  
ら農作業に家畜の世話、さらに大仕事など、  
満足な食事でもできず裸足で、365日休む暇も  
なく働かされた。強制労働みたいなものです。  
安静と栄養が必要な病気なのにですよ。過酷な  
労働の中で、病菌で末梢神経が冒され、熱い、冷  
たい、痛いといった感覚がなくなり、無意識のう  
ちに体や手足を傷つけてしまう。冷たくなって



感覚がなくなったこの手は、病気というより、苦  
しみに耐え抜きそれでも生きてきた証拠なん  
です。この不自由な手を、私は少しも恥ずかしい  
とは思いません。子供たちが、卒業式で、こう言  
うんです。平沢さんと握手したことを、一生の財  
産として大切に生きていきます。私の方が  
涙が出てきてしまいます。嶋田さん、金指さん、  
お話が終わったら握手しましょう。人生はいつも  
ハッピーとは限らない。そういう時は今日のこと  
を思い出してください。小倉理事長がハンセン病  
資料館に連れてきてくださって、平沢という男  
と会うことができました。そして、握手した時の冷  
たい手を思い出してください。

**宅急便は障がい者の味方  
頼りになるこれからも  
応援してください。**

司会 ヤマト運輸のドライバーは、全国にあるハ

ンセン病回復者の入居施設に、毎日のように集  
荷、配達におうかがいしています。  
**平沢さん** うちにいつも来てくれてる人もね、  
「苦労さん」と言うのと「はい、元気でね」と返  
事を返してくれてね、どこでもそんな感じだと  
思いますよ。箱がいっぱいあつたでしょう、宅急便  
をお願いします。電話一本で自宅まで取  
りにきてくれるから、障がい者はすごく助かっ  
ています。私は手が不自由だから、店まで持つて  
くのは大変なんです。頼めば梱包もしてくる  
し、伝票も貼ってくれる。身重の奥さんとかお年  
寄りも、助かっていると思いますよ。宅急便がで  
きるまでは、旅行に行つても持つて帰ることがで  
きないので、土産を買いたくても買えなかった。  
わずかな料金でちゃんと家まで届けてくれる。  
「人が喜ぶことをすれば、会社も儲かる。仕事を  
して楽しい」小倉理事長がよくおっしゃって  
いましたよね。  
**小倉理事長** 今日(3月30日)は花見もさせて  
もらったね。りっぱな桜だ。咲き乱れている。今日  
は天気予報では雨と言っていたのに、降らなくて  
良かった。心がけが良かったのかな。(笑)  
前々から資料館には来たかったんですが、なかな  
か時間が取れなくて。今日、こういうチャンスに  
恵まれて本当にうれしかった。平沢さんが自ら  
説明してくださったのが、特に良かった。これか  
らも差別というものは、永久に無くならないで  
しょう。でも無くしていかなければならない。金  
指さん、嶋田さん、いっしょに頑張りましょう。最  
後に、みんな握手しましょう。  
**金指さん** はい、頑張ります。そして、平沢さん  
と握手できたことを、一生忘れません。  
**嶋田さん** 私がそうだったように、大多数の社



平沢さんの人生の証、感覚の無くなった手を握りしめて。

員は、差別の実態を知らないと思います。今日、  
社員を代表して来ることができて、本当に良か  
ったと思います。一人でも多くの社員に、いろい  
ろな人に知ってもらえるように努力していきます。  
平沢さんたちのお役に立てればと思います。  
**平沢さん** 理事長と歩いた桜並木は、私が昭  
和30年に植樹したものです。理事長をお待ちし  
ている時、小倉さんは晴れ男だから、雨がどこか  
に行つたんだろうと話していたところなんですよ。  
私の方こそ、理事長に来ていただいて、本当に光  
榮に思っています。ご多忙のところ、ありがどう  
ございます。ヤマトグループの社員の方もいっしょ  
に来ていただいた。小倉理事長が愛していらつし  
やるヤマトグループ11万人の社員は、私たちの味  
方だと思っています。頼りにしています。職場に  
もどられましたら、今日のことを、ぜひ皆さんに  
お伝えください。また機会がありましたら、ぜ  
ひ来てください。

## 平成16年度事業計画書

(自・平成16年4月1日～至・平成17年3月31日)

### はじめに

わが国の福祉のあり方は「社会福祉基礎構造改革」により大きく変わったといえる。その最も基本となる考え方は「利用者の立場に立った社会福祉制度の構築」である。行政がサービス内容を決定する「措置制度」から利用者が事業者との対等な関係に基づき自らサービスを選択する「利用制度」への転換である。つまり、施策の基本を従来の保護対象としての位置づけから障害者自身の自己決定、自己選択を支援するという当事者本位の方向にあらため、障害のある人もない人も同じように地域で生活できるようにしてゆくという、共生社会の実現に向けた取り組みが進められているのである。こうした「利用制度」が実質的に機能してゆくためには、一方でサービスの供給側である事業者(施設)が常に市場に質の高いサービスを提供するよう努力する仕組みが構築されていることが重要であり、また、他方でサービスの需要側である利用者(障害者)が自分のニーズにあった質の高いサービスを選択できる仕組みが構築されていることも重要であるとされている。これらの方向は当財団が自主事業として一貫して続けてきた「小規模作業所パワーアップセミナー」の内容が行政サイドから認知されたことを示すものである。今後も幅広い国の障害者施策を注視しつつ、ノーライゼーションの理念の実現にむけたゆめのない努力を続けなければならない。今年度は以下の事業を積極的に推進していくこととする。

### 事業

#### 1. 成事業

次の助成事業を実施する。

- (1) 障害のある大学生に対する奨学金の供与。
- (2) 障害者施設等の整備・改善、備品購入等に対する助成。
- (3) 障害者福祉に関する各種講演会、研修事業等に対する助成。
- (4) 障害者福祉に関する各種出版、啓発活動等に対する助成。
- (5) 障害者福祉に関する各種調査、研究事業等に対する助成。
- (6) 障害者を中心とする各種文化事業、スポーツ活動等に対する助成。

#### 2. 自主事業

今年度は過去8年間にわたり、実施してきた「小規模作業所のパワーアップセミナー」のレベルアップをはかり、「福祉と経営の融合」の実践と浸透をさらに深めることにより、作業所の幹部職員の意識改革を一層すすめることとする。

又、障害者の一般就労を積極的にすすめるためのシンポジウムの開催やジョブコーチ(職場適応援助者)の養成を行うほか、スワンペーカーリーチエーン店の拡大とコンサルタント(中小企業診断士)による経営指導を行う。今年度行う主な事業は次の通りである。

- (1) 障害者施設の経営力の充実強化を目的に次の全国8ヶ所で「パワーアップセミナー」を開催し、「経営力」「商品力」「営業力」等、幹部の能力アップの研修を行う。(札幌、仙台、東京2回、名古屋、大阪、香川、福岡、)
- (2) 障害者の雇用創出、就労機会の確保、収入の安定向上、自立支援等を目的に今年度も次の事業を展開する。
  - (A) 株式会社スワンペーカーリーの全国的なチェーン店の拡大をすすめるとともに、FCシステムの確立に向けた指導を行う。
  - (B) 株式会社スワンネットを中心に共同作業所、障害者就労施設において製作、加工する物品の全国販売活動を積極的に指導、推進する。
  - (C) 新たに設立した株式会社スワン製炭(福岡)を中心に障害者施設における炭焼き事業(製造、販売)の指導、支援を全国的に展開する。
  - (D) 埼玉県新座市に設立準備を進めている「ヤマト自立センター」の事業内容の指導を行い、障害者の雇用創出、拡大に努める。
- (3) 障害者の一般企業への就労を促進させるためのシンポジウムを開催する。(政府による同様の企画が準備されており、日程を含め調整する必要がある)
- (4) ジョブコーチ(職場適応援助者)の養成を引き続き行い、障害者が職場に適應できるよう直接支援を行うとともに、事業主や職場の社員に対しても助言や職場環境改善等の提案を行うことにより、障害者の職場定着の向上を図る。
- (5) 第5回「ヤマト福祉財団賞」の贈呈  
障害者就労施設や一般企業等において、障害者の就労支援、職業指導、処遇改善などの面で功労著しく、広く敬愛の的となっている個人を対象に本年も「ヤマト福祉財団賞」を贈呈する。
- (6) 「日本障害フォーラム(JDF)」準備会の支援について  
2002年の「アジア・太平洋障害者の十年キャンペーン」や「国連障害者の権利擁護条約」の採択に向けた動き等なかで日本の障害者団体の種別を超えた結束の機運が高まり、準備会発足のための下打合せ会がスタートしている。準備会は当面、次の事業を行うとしている。
  - (A) 国連・障害者の権利条約の推進に関すること
  - (B) 第二次「アジア太平洋障害者の十年」の推進及びA.P.D.F.に関すること
  - (C) 「障害者基本計画」を始めとする国内の障害者施策の推進に関すること
  - (D) 障害をもつ人の差別禁止と権利に係る国内法制度の実現に関すること
  - (E) その他、目的達成のための事業推進に関すること歴史的背景の異なる障害者団体が足並みを揃えることは重要であり、推移をみきわめながら、他の助成財団と協力して取組むこととする。
- (7) 支部活動の充実強化  
全国各地域の障害者ニーズの的確な把握をはじめ、地域に密着した事業の企画、実施やサービスの提供を行うため、全国11地区に設置してある財団支部の活動をヤマト運輸の協力を得てさらに強化する。
- (8) 賛助会員の増強  
財団活動の一層の発展を図るため、賛助会員の拡大、増強に努めるとともに広報紙の発行、インターネットのホームページ上での情報公開等、PRに努める。

又、一般の賛助会員制度についても検討を行う。

## 平成16年度助成金申請受付 総件数1522件です。

内訳は北海道53件、東北122件、関東216件、東京216件、北信越113件、中部168件、関西313件、中国113件、四国62件、九州126件、沖縄20件です。  
厳正なる選考を経て、6月中旬までに交付先を決定する予定です。

### 2004年度パワーアップセミナー 開催日・開催地

開催地域エリア	開催日	開催会場
北海道	6月24日～26日 TEL 011-222-1111 FAX 011-222-5521	ホテルニューオータニ札幌 〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西1丁目1-1
九州・沖縄	7月8日～10日 TEL 092-844-8111 FAX 092-844-7887	シーホーク ホテル&リゾート 〒810-8650 福岡県福岡市ホークスタウン内
関東・北信越 A	7月22日～24日 TEL 03-3442-1111 FAX 03-3444-1234	新高輪プリンスホテル 〒108-8612 東京都港区高輪3-13-1
関西	9月2日～4日 TEL 06-6928-3251 FAX 06-6928-3260	大阪リバーサイドホテル 〒534-0027 大阪府大阪市都島区中野町5丁目12-30
東北	9月16日～18日 TEL 022-268-2525 FAX 022-268-2521	ホテルメトロポリタン仙台 〒980-8477 宮城県仙台市青葉区中央1丁目1-1
中国・四国	9月30日～10月2日 TEL 0877-23-2222 FAX 0877-23-8295	オークラホテル丸亀 〒763-0011 香川県丸亀市富士見町3丁目3-50
関東・北信越 B	10月28日～30日 TEL 03-3442-1111 FAX 03-3444-1234	新高輪プリンスホテル 〒108-8612 東京都港区高輪3-13-1
中部・北陸・滋賀県	11月11日～13日 TEL 052-582-2121 FAX 052-582-8666	ホテルキャッスルプラザ 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目3-25

### 小倉昌男理事長著

「『なんでだろう』から仕事は始まる！」  
が5月26日に講談社から発売されます。

小倉昌男理事長からの「自分の頭で考えることの大切さ」をインタビュー形式でまとめられています。若い企業家、ビジネスマンにぜひ読んでいただきたい1冊です。

定価(税込) ¥1,365

お求めは全国の最寄りの書店または、  
ブックサービス株式会社 TEL.03-3817-0711まで



関東支部に  
安田 稔新事務長が  
就任しました。

境野富士夫事務長お疲れさまでした。新しく安田 稔事務長が就任しました。よろしくお祈りします。



スワンカフェ&  
ペーカーリー赤坂店  
に岡本和宏新店長  
が就任しました。

増田秀暁店長お疲れさまでした。岡本和宏店長が、新しく就任しました。よろしくお祈りします。

## 4月12日に開催された 「日本財団春の交流会2004」に スワンカフェ&ベーカリー赤坂店 が出店しました。

4月12日(月)、日本財団主催の「日本財団春の交流会2004」がホテル海洋で開催されました。その交流会にスワンカフェ&ベーカリー赤坂店が出店して、多くの参加者の皆さまにパンを食べていただき、たいへん好評でした。



## スワンベーカリー霞ヶ関売店が、 厚生労働省地下1階に 4月1日オープンしました。 **open!**

スワンベーカリー十条店の販売店として、スワンベーカリー霞ヶ関売店が厚生労働省庁舎地下1階に、4月1日オープンしました。十条店では、開店以来5年間、厚生労働省へパンの宅配を続けてきました。大好評につき、売店をオープンすることになりました。十条店で作った焼き立てパンを、笑顔で販売しています。お近くにお寄りの際は、ぜひお立ち寄りください。



## スワンベーカリーが新しく 神戸、相模原、倉敷に 3店舗オープンします。 **open!**

スワンベーカリー-KOBE、5月17日(月)オープン!  
スワンベーカリー-さがみはら、5月20日(木)オープン!  
スワンベーカリー-倉敷(仮)、6月下旬オープン予定  
新しいスワンベーカリーも、どうぞ応援よろしくお願いします。

### Universal service

## ヤマト運輸の **誰にも便利な** ユニバーサルデザイン

②

プロフィール  
芳賀 優子 (はが ゆうこ)

1962年福島県生まれ。ヤマト運輸(株)に勤務のかたわら、(財)共用品推進機構などで弱視の生活者の視点から表現、発言活動が続ける。「弱視OL奮戦記」(都市文化社)「弱視の人に出会う本」(小学館)「ゆうことかりんのバリアフリー・コミュニケーション」(小学館)ほか。



## 「いつも同じSDが伺う、安心というサービス」

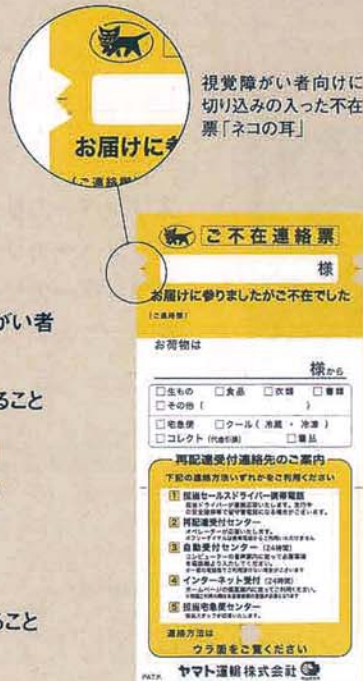
宅急便は、エリア毎に決まったSDがお客さまのお宅にお伺いします。ヤマト運輸では当たり前のことですが、障がいのあるお客さまにとって、どれだけ安心できることかわかるでしょうか。視障がいの方は、声で人を覚えます。名前もすぐに覚えます。「いつもの宅急便の〇〇さん」安心してドアを開けることができます。いつもと違うSDだと、「うちは〇〇さんだから」と開けない人さえいます。障がい者も人それぞれで、程度も違えば不自由さも違います。SDも毎度お伺いすることでお客さまの、そういったこともわかってくるでしょう。「私のことを知ってくれている人」すごいサービスです。ユニバーサルデザインそのものであり、お客さまは宅急便の固定ファンになってくれます。宅配便のふりをした強盗とか、何かと物騒な世の中です。障がい者に限らず、高齢者、小さいお子さんのいらっしゃる主婦も、不安感はいっしょだと思います。担当が変わった時、引き継ぎをしたら、もっと素晴らしいことになるのでは。「私のことを知ってくれている人」を引き継ぐということは、ユニバーサルデザインの継続であり、宅急便固定ファンの継続につながると思います。

# 「宅急便」は ユニバーサル・デザインの商品です。

障がいのある人達にもっと便利に使っていただくため、サービスに一段と磨きをかけましょう。

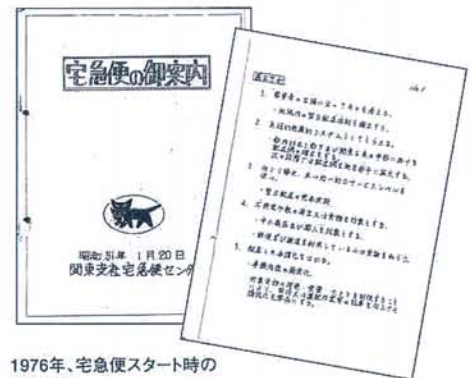
## 障がいのある人達の間で 案外知られていない宅急便のこと

- ◎ 電話ひとつでどこへでも、一個でも荷物を取りにきてくれること
- ◎ 日祭日はもちろん、年末年始も365日営業（集荷、配達）していること
- ◎ 梱包資材を売っていること。体の不自由な人は頼めば梱包を手伝ってくれること
- ◎ 伝票の印字サービス、（一枚からでも差出人、宛名を印字してくれること）
- ◎ 物品販売があること（飲料水やトイレペーパーなど重いものも届けてくれること）
- ◎ 運賃の着払い制度があること
- ◎ 送り先が一箇所の場合、複数個でも利用できること
- ◎ 一部に即日配達エリアがあること
- ◎ 配達する日の指定（時間帯指定も）できること
- ◎ 再配達の場合でも時間帯指定ができること
- ◎ 不在票にネコの耳の切り込みが入っていること（視覚障がい者向け）
- ◎ インターネットでの再配達申込みシステムが聴覚障がい者に便利であること
- ◎ インターネットでの問合せ（荷物追跡）システムがあること
- ◎ 往復宅急便があること（おもに、空港、旅行に便利）
- ◎ FAXによる集荷、再配達、物品販売などの申込みができること
- ◎ 荷物の転送サービスにお金がかからないこと
- ◎ ヤマト運輸のセンターに荷物を留め置くことができること
- ◎ 不在票にエリア担当ドライバーの携帯電話番号が記載されており直接、連絡することができること
- ◎ その他



宅急便は1976年、「需要者の立場にたつて考える。」をコンセプトにスタートして28年間、大きく進化してきました。日常生活のインフラとなったばかりでなく、特に、心身に障がいのある方々や高齢者にとって、今までになかった大変便利なサービスが喜ばれてきました。バリアフリーとは、もともとあったバリア(障壁)を取り除くことですがユニバーサル・デザインは最初からバリアが取り除かれていることを指します。

例えば、銀行や郵便局はある場所へ出向かなければATMの利用や切手、はがき等の購入ができませんのでも、バリアが存在します。(その場所へ行かない人がいるため)家庭から家庭へお届けする宅急便は最初からバリアが取り除かれた日本では数少ないユニバーサル・デザインの商品なのです。宅急便に自信と誇りをもって、今後ともより良いサービスを追求しましょう。



1976年、宅急便スタート時の基本方針

### バリアフリーとは？

障がいのある人が社会生活をしていく上で障壁(バリア)となるものを除去するという意味です。もともとは建築用語として登場したため、段差の解消等、物理的な障壁の除去という意味合いが強いのですが、より広く障がい者の社会参加を困難にしている社会的、制度的、心理的なすべての障壁の除去という意味でも用いられています。

### ユニバーサル・デザインとは？

できうるかぎり最大限、すべての人に利用可能であるように製品、建物、空間をデザインすることをいいます。能力あるいは障がいのレベルに関わらず、高齢者や障がい者、妊婦、子供などすべての人が使用できるように製品、要素、空間をデザインすることをいいます。

### ノーマライゼーションとは？

デンマークのバンク・ミケルセンが精神薄弱者の処遇に関して唱え、北欧から世界へ広まった障がい者福祉の最も重要な理念です。障がい者を特別視するのではなく、一般社会の中で普通の生活が送れるような条件を整えるべきであり、共に生きる社会こそノーマルであるという考えです。この理念は「障がい者の権利宣言」の底流をなし、「国際障がい者年行動計画」および「障がい者に関する世界行動計画」にも反映されています。「ヤマト福祉財団」の基本理念でもあります。



# スワン ネット

スワンネットのジャガイモ、タマネギは、  
共同作業所にも、近所の主婦の方にも、  
たいへん喜ばれています。  
販売を希望する、共同作業所をご紹介ください。

## 社会福祉法人済美会 社会就労センター 済美職業実習所 知的障がい者 60名在籍 東京都杉並区

施設長・社会福祉士 曾田やい子さん スタッフ 伊勢崎 稔さん

### のぼりが目印、住宅街でジャガイモ、 タマネギの無人販売。



玄関前に無人販売コーナーがある済美職業実習所



小売り用にビニール袋に小分けしている作業風景

農家から宅急便で、段ボール箱で届いた野菜を、メンバーが販売用に小分けしてビニール袋に入れていきます。1袋百円で、施設の前で無人販売。住宅街なのでどうかと思いましたが、1月500kg、600kg売れています。これからは、チラシを作ってポスティングをしたり、出張販売ルートを開拓したり、積極的に販売促進を行っていきたくと、お話していました。

日本で最初の、知的障がい者通所授産施設として1960年に開設した済美職業実習所は、ボールペン組み立て、雑誌付録入れ、日用品組み立て、照明器具組み立て、検査、公園清掃など多くの仕事に取り組んでいます。最近、取引先の生産拠点が中国に移転したり、工賃が削減されたり、仕事を取り巻く環境が厳しくなってきました。下請け以外の新しい仕事を模索していた時に、ヤマト福祉財団のホームページで、スワンネットの野菜販売を知りました。「これだ！」と思って、すぐに申し込んだそうです。

## 精神障がい者小規模作業所 オリーブ

精神障がい者 43名在籍 大阪市平野区

メンバー 大良清春さん 精神保健福祉士 林 隆之さん

### ジャガイモ、タマネギに加えて トイレットペーパーも店頭販売。



近所のお寺で2月3日節分の日に野菜販売を実施



施設の隣の自転車置き場を利用した販売

パワーアップセミナーにも参加したことのあるオリーブは、下請け作業として、ねじ加工・両面テープ加工・炭製品加工などをメインに、授産品として、絵手紙・陶芸品などを作っています。ヤマト福祉財団のホームページを見て、スワンベーカーのパン屋さんは無理かもしれないけれど、スワンネットの野菜販売ならできそうだと思って、申し込んだそうです。

自分たちで食べて納得、おいしいから自信を持って販売しています。施設の隣の自転車置き場にテーブルを置いて陳列。スワンネットから仕入れたトイレットペーパーもいっしょに販売しています。ジャガイモ・タマネギは、駅前のお寺で週1回、地域のお寺で月1、2回出張販売を行っています。トイレットペーパーは、公共施設や老人保健施設、郵便局などにも営業しています。2月には、野菜を680kg販売して、スワンネットと契約している全国の作業所の中で第一位に輝きました。

#### 詳しいお問い合わせは

〒104-0061 東京都中央区銀座2-12-15 ヤマト運輸別館8F 株式会社スワンネット 営業部長 門脇 悠(かどわき ひさし)  
Tel. 03-5148-1066 Fax. 03-5148-1067 e-mail: kadowaki@swannet.jp

がんばって  
ますか!

障がい者の  
職場めぐり

能力開発部が新分野の仕事を開拓して、  
障がい者の皆さんが見事に期待に応える。  
未来につながる良い循環が始まっています。



▲能力開発部のデスクでデータ入力業務を担当。ミスがほとんどない正確な仕事ぶりは社内でも高く評価されています。

左/松尾和幸さん  
右/山本さん

障がい者の仕事開拓のために、他部署に社内営業して、独自の取組をされている、東陽町にあるヤマトシステム開発(株)の能力開発部を訪ねました。部員14名のうち、障がい者が8名もいます。皆さん、パソコンを前にして、普通にデスクワークされているので、

社内便仕訳室(メール室)で働いている障がい者の皆さんは、今年の2月の組織改正時に大活躍されたとか。若井昇さんにその時の様子を語っていただきました。「新部署名で来るのと、旧部署名で来るのが混在していた時期が1ヶ月くらいありまして、メール室にあるイントラネットで座席表を確認。それでもわからない人は名前で検索しました。いま二人が中心になってやっているの、あと二人メール室の仕事ができるようにして、4人体制でローテーションを組みたいと思っています。手始めに4月に入った新人に仕事を教えているところです。」取材中も、社内便の問い合わせに、的確に対応する若井さんには、おおいに感心させられました。

大田区にある東京ロジシスセンター



▲北川知恵さん

「では、6名の障がい者の皆さんが、健常者に混じってピッキング、梱包、商品ラベル貼りなど忙しく働いています。外部委託のスタッフに作業を指示している北川知恵さんにお話してもらいました。「入社して1年ちょっとですが、皆さん親切に教えてくれたので仕事はすぐに覚えられました。休日には大好きなコンサートによく行っています。」

障がい者には、こういう仕事という固定観念にとらわれることなく、どんどん新分野の仕事を開拓する能力開発部の皆さん。期待に応えて、しっかり他の社員にも頼りにされる存在になっている障がい者の皆さん。その素晴らしいチームプレーに、深く感動しました。

会社紹介

ヤマトシステム開発(株)は、ヤマト運輸(株)のシステム設計・開発・運用で培った豊富なノウハウを活かして、多くの一般企業の皆さまに最適なソリューションを提案しています。いまでは、ヤマトグループ以外の仕事も、売上げの $\frac{2}{3}$ を占めるまで伸びています。

- 正社員数1399名
- 障がい者社員数33名

(2004年4月1日現在)



若井 昇さん



左/吉田悠一さん  
右/井上歩さん

2  
職場  
めぐり

ヤマトロジスティクス株式会社 九州支店福岡ロジセンター

障がい者19名のうち、7名がフォークリフトの免許を取得。  
方面別仕分け、ピッキング、梱包、包装、在庫管理、  
パソコン入力、シュリンク包装に大活躍しています。



▲田仲武弘さん

福岡第二物流支店から移行したばかりのヤマトロジスティクス(株)九州支店 福岡ロジセンターを訪ねました。福岡ロジセンターでは、7名の障がい者がフォークリフトの免許を取得しています。バスケットボールの代表選手として、シドニー・パラリンピックにも出場経験がある田仲武弘さんにお話を伺いました。

「フォークリフトの免許を取ったのは、ヤマトに入社してすぐだったと思います。福岡第二物流支店から移行したばかりのヤマトロジスティクス(株)九州支店 福岡ロジセンターを訪ねました。福岡ロジセンターでは、7名の障がい者がフォークリフトの免許を取得しています。バスケットボールの代表選手として、シドニー・パラリンピックにも出場経験がある田仲武弘さんにお話を伺いました。」

「フォークリフトの免許を取ったのは、ヤマトに入社してすぐだったと思います。福岡第二物流支店から移行したばかりのヤマトロジスティクス(株)九州支店 福岡ロジセンターを訪ねました。福岡ロジセンターでは、7名の障がい者がフォークリフトの免許を取得しています。バスケットボールの代表選手として、シドニー・パラリンピックにも出場経験がある田仲武弘さんにお話を伺いました。」



▲鎌田淳嗣さん

「いつも元気な声であいさつする職場の人気者、石井龍平さんは、ピッキング、梱包、梱包と忙しそうに働いています。元氣な声の秘訣から、お話を伺いました。『いつも健康管理には気をつけています。だから元氣な声が出るんだと思います。仕事で気をつけていることは、発送もれがないようにすること。楽しいことは、ボックスの積み込みがきれいでできた時かな。いろいろな形の荷物が、ボックスのなかで、ぴったり合うとすごくうれしい。僕もフォークリフトの免許を持っています。』」

「いつも元気な声であいさつする職場の人気者、石井龍平さんは、ピッキング、梱包、梱包と忙しそうに働いています。元氣な声の秘訣から、お話を伺いました。『いつも健康管理には気をつけています。だから元氣な声が出るんだと思います。仕事で気をつけていることは、発送もれがないようにすること。楽しいことは、ボックスの積み込みがきれいでできた時かな。いろいろな形の荷物が、ボックスのなかで、ぴったり合うとすごくうれしい。僕もフォークリフトの免許を持っています。』」

会社紹介

物流アウトソーシング、物流センター業務を中心に受託。福岡ロジセンターでは、次のようなお客さまの商品をお取り扱いしています。

業種：通信販売、家電販売(インターネット注文)、水産加工(明太子)

商品：化粧品、健康食品、家電、美容器具、生鮮食品(明太子他)、印刷物

●総社員数120名 ●障がい者社員数19名  
(2004年4月1日現在)



石井龍平さん



山下武志さん



村上義進さん

飲みながらプロ野球をテレビ観戦することです。もちろん福岡ダイエーホークスファンです。福岡ドームに行つて片手にメガホン、片手に生ビール。もう最高です。今年もゼッタイ応援に行きます。」

パソコンに向かって、リズミカルなキータッチで入力作業をしている村上義進さんにもお話を伺いました。「宅急便の伝票と納品書のデータ入力をしています。僕が出力しないと現場が動けないので、毎日休まずにがんばっています。僕の自慢は記憶力です。漢字検定準2級の免許を持っています。誕生日を覚えるのも得意です。小倉昌男理事長の誕生日は大正13年12月13日です。福岡に講演にいらつした時にお会いして、お聞きしました。」

奨学金  
ありがとう。

プロフィール  
伊藤 建志 (いとう たけし)  
1982年生まれ 22才  
京都府出身 大阪府在住  
聴力障がい 2級  
2004年3月 大阪大学 基礎工学部 卒業  
2004年4月 大阪大学 大学院 情報科学  
研究科 入学



**聴力障害の伊藤さんは、  
エンジニアを目指して今春大学院に入学。  
ヤマト福祉財団の奨学金は、勉強にサークル活動に  
おおいに役立ったと感謝していました。**

伊藤さんの下宿から車で5分足らずのところにある、スワンベーカーリー茨木店で、おいしいコーヒーを飲みながらお話を伺いました。伊藤さん、自己紹介からお願いします。

「僕は、生まれつきの聴力障がい、原因は不明です。情報系の勉強をしたかったので、大阪大学 基礎工学部に入りました。高校生の時は、友人とのコミュニケーションは筆談とか手振り身振り、電話の代わりにファックスを使ったり、いろいろ工夫して、会話していました。今は、メールやチャットを良く使っています。会話で一番重要なのは、相手に伝えようとする気持ちだと思います。」

大学の授業では、聴力障害をどのように克服されたのでしょうか。「大学に入ってから授業は、1回生、2回生の途中まで、教科書を読んでいただけでしたが、2回生の終わり頃、最初は自分で探して、ポ



伊藤建志さんの大学卒業証書

ランテイアのノートテイクを頼みました。授業で先生の話したことを紙に書いてくれるサービスです。隣にノートテイクの人に座ってもらって、書かれた紙を読むことによつて、授業に参加しました。一昨年の10月には大阪大学に身体障害学生支援室ができて、ノートテイクの幹事も含めて、いろいろサポートしてもらっています。大学

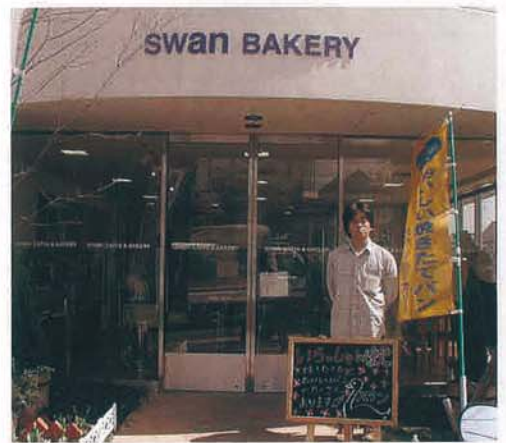
院では情報系の勉強を深めたいと思います。将来は就職して、ネットワーク関係の仕事につきたいですね。」

ノートテイクですか、聴力障害の方のサポートとして非常に有効な手法ですね。そういったことが、もっともって日本でも普及するといいたすね。それでは、当財団の奨学金について伺います。

「ヤマト福祉財団の奨学金は、親が申請してくれて、2回生から供与していただきました。とても感謝しています。人間関係を広げるために、手話のサークルをはじめ、大阪大学以外の学生の集まる団体にもいろいろ参加しました。おかげさまでたくさんの方と出会えました。これからの僕の人生の大切な財産になっていくと思います。勉強はもちろん、サークル活動する上で、

ヤマト福祉財団からいただいた毎月5万円は、おおいに役立ちました。健康者でも就職難の時代ですから、障がいのある学生にとつて返済の必要のない奨学金は、とてもありがたいですね。障がいのある学生はお金がかかりません。アルバイトも、簡単にできるものではありません。ヤマト福祉財団の奨学金供与は、僕がそうだったように充実した学生生活を過ごすのに、とても有効なサポートだと思っています。これからも、障がいのある大学生を支援する活動を続けてください。」

伊藤さんなら、必ず優秀なエンジニアになれるはず。これからがんばってください。当財団も、障害のある大学生が夢を実現するためのお手伝いを、一層充実させていきたいと思っています。



スワンベーカーリー茨木店にて取材・撮影

ヤマト福祉財団全国支部連絡先(ヤマト運輸(株)内)

支部	事務長	連絡先
北海道支部	加藤房男	TEL.011-891-5040
東北支部	平井 忠	TEL.022-374-8065
東京支部	窪寺敏幸	TEL.03-5564-3705
関東支部	安田 稔	TEL.03-3471-9016
北信越支部	加藤泰男	TEL.025-231-9512
中部支部	黒沢一誠	TEL.0561-61-5111

支部	事務長	連絡先
関西支部	富川宣臣	TEL.06-6682-7127
中国支部	竹下憲雄	TEL.082-849-1451
四国支部	榎島憲行	TEL.0877-46-7875
九州支部	目野和彦	TEL.092-931-3340
沖縄支部	六笠保裕	TEL.098-859-2811

賛助会員 個人49,504人 法人34社(2004年3月31日現在)

古紙配合率100%の再生紙とアメリカ大豆協会認定の大豆油インクを使用しています。

